

2015年6月27日

Produced by Emilio maya

～ SAKURA PROJECTO VOL.2 ～

日本とスペインの懸け橋

昨年につき、日本のフラメンコ関係者の皆様に、日本在住のフラメンコギタリスト、エミリオ・マジャ プロデュース・監修の2015年「SAKURA プロジェクト Vol.2」スペイン公演についてお知らせをお送り致します。

本プロジェクトは4名の日本人舞踊家によるフラメンコを本場スペインで紹介していくことを目的としており、昨年はグラナダ県の3か所にて公演を行い、現地紙にも取り上げられるなど好評を得ました。その結果、本年は7月31日（金）に、グラナダにおけるフラメンコの夏のイベントの中で最も有名で人気のひとつ、コラル・デル・カルボンにて公演を行うことになりました。

日時	場所
7月31日（金）	Corral del Carbón コラル・デル・カルボン グラナダ市内
※9月23日（水・祝）	日本凱旋公演 新宿エルフラメンコ（代表：浅見純子）

踊り手（50音順）：浅見純子、荻野リサ、大塚香代、吉田久美子

ギター：エミリオ・マジャ

カンテ：エル・ガジ、マヌエル・タニェ（日本公演は未定）

[エミリオ・マジャより]

昨年、私の構想が実現し、グラナダの3か所で公演を行うことができました。現地紙もSAKURAフラメンカを写真入りで取り上げたり、公演を見た多くのスペイン人から「日本人もスペイン人と同じくらい踊れるんですね！」と賞賛のコメントを頂きました。フラメンコに対する敬意と愛があり、精進すれば、フラメンコに国境はないのだということを観た方々には分かってもらえたという手応えがありました。

このプロジェクトは始まったばかりで、今年も第二弾を実現すべく準備をしてきましたが、昨年のSAKURAフラメンカの踊りを観たコラル・デル・カルボンの主催者が、今年の夏のフェスティバルでSAKURAプロジェクトの公演を行うことにつき快諾してくれました。コラル・デル・カルボンといえば、スペイン人でも一流の人気のアーティストしか出演できない、グラナダの夏のフラメンコ・イベントでは重要な場所です。今年、コラル・デル・カルボンで公演を行えることはSAKURAプロジェクトにとって、非常に大きいと思います。大きなスポ

ンサーもなく外国でプロジェクトを実現するのは難しいことですが、今年は活動を賛同いただく支援者の方、SAKURA のメンバーの協力で実現することができました。これからも少しずつでもこのプロジェクトを進めていきたいと考えています。



[プロデュース補佐・踊り手リーダー浅見純子より]

昨年のはじめて「SAKURA FLAMENCA」として3ヶ所の公演を経験し、私たち自身も公演直後のスペイン人の共演アーティスト、また観客の皆さまの反応や感想を受け、とても熱い思いを感じました。この構想をエミリオから聞かされ、2013年8月アルムニェカル市 エル・マフエロ公園内ステージで私自身、舞台を経験させてもらいました。3年目の夏、またこうして継続して日本人のフラメンコをスペインで観ていただくことができる場を提供いただいた、エミリオほか関係者の皆さんに感謝したいです。エミリオの実現していきたい“夢”に賛同し、プロデュースを手伝ってきました。エミリオ自身のフラメンコの世界での経験や実績、また人間性の素晴らしさ、信頼性は、踊りはもとより、日本のフラメンコ界の歌手、ギターリスト…エミリオに触れた多くの人達が彼の魅力に惹きつけられ、学びたい、と思っているのではないかと思います。エミリオから溢れでるアイデアをどのように表現していくのか、沢山のミーティングを重ねこの企画が実現しました。

日本との懸け橋となるエミリオの構想は、今後も「日本のフラメンコ界」を活性化させ、フラメンコに携わる人に夢を与え続けてくれるものだと思います。

プロデュース・監修：エミリオ・マジヤ
プロデュース補佐：浅見純子
〃 協力：片山友紀